

各 位

2023年7月13日



会 社 名 株式会社ノダ  
代表者名 代表取締役社長 野田 励  
(コード番号7879 東証スタンダード)  
問合せ先 取締役総務部長 良知 正啓  
(TEL 03-5687-6222)

### 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、前回（2023年1月17日）発表した2023年11月期第2四半期（累計）の連結業績予想を下記のとおり修正いたします。

#### 記

・2023年11月期第2四半期（累計）連結業績予想数値の修正（2022年12月1日～2023年5月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	38,600	3,400	3,500	1,900	118.34
今回修正予想 (B)	35,300	2,580	2,690	1,560	97.16
増減額 (B) - (A)	△3,300	△820	△810	△340	
増減率 (%)	△8.5	△24.1	△23.1	△17.9	
(ご参考) 前第2四半期実績 (2022年11月期第2四半期)	38,641	4,694	4,985	2,983	183.22

#### 〔修正の理由〕

持家を中心に新設住宅着工戸数が低水準で推移するなか、期初から建材・MDF（中質繊維板）製品全般の販売量が見込みを大幅に下回る厳しい事業環境が続きました。さらに、原材料や副資材・電力・物流など様々なコストアップが利益の下押し要因となりました。また、国産針葉樹合板については、メーカー在庫の急増により昨年秋に生産調整を開始しましたが、合板相場が調整局面で推移するなか販売量が回復せず、生産調整を継続いたしました。輸入南洋材合板についても、販売量の低迷が続き、採算性が低下いたしました。これらの要因から、上記のとおり当第2四半期連結累計期間の連結業績は、売上高・利益とも前回発表予想を下回る厳しい見通しとなりました。

なお、第3四半期以降の取組みとして、内装建材の新シリーズ「カナエル」の早期定着・拡販のため既存顧客への提案強化や新規顧客の獲得、耐震性や劣化軽減性に優れたMDF製品である構造用ハイベストウッド（HBW）の拡販、需要動向に即した合板製品の生産・仕入管理の徹底、固定費のコントロールなど各種施策を実行し、業績の回復に努めてまいります。

以上

※上記の予想数値は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の数値は今後様々な要因によって予想と異なる場合があります。